科目基礎情報 利目音号 0044			開講年度	令和05年度 (2	2023年度)	授	 業科目	プログ	 ブラミング言語 II	
神田田田		- N. C. C. I	איד נו ינייו ן .	15·1HOO-F/又(2		ענ ן	<u> </u>	<u>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>		
接触工学科		0044			拟日区分		亩門 / 心	·····································		
開設学科					1		<u> </u>			
開始期					7 1 7 1 7 1 7 1		THE TOTAL CONTRACTOR OF THE TOTAL CONTRACTOR OT THE TOTAL CONTRACTOR OF THE TOTAL CONTRACTOR OT THE TOTAL CONTRACTOR OF THE TO			
数単の連続性										
選連目標			. 使用 https	. //cockylabsito.ct	1			tro/CInt	ro html	
到達自標			·使用 IILLPS	://COSKXIdDSILe.SL	<pre><xlabsite.stars.ne.jp cintro="" cintro<="" for_students="" html="" td=""><td>iti 0/CIIIt</td><td>10.11(11)1</td></xlabsite.stars.ne.jp></pre>			iti 0/CIIIt	10.11(11)1	
この語地域を対く言葉プログラミングの修存を目標とする。具体的には、プログラムを読んでよる。シュル動作が行なわれるか高れを辿ったでは、高いない。		野小 准人								
要もできる。	C言語初級者がC言語プ ける。簡単な課題に関し になる。演習においてに ァイルの提出などもでき	っては,自分で は,PCでのエラ	処理手順を考え ディタ・コンパ~	え,それをCプログラ イラ操作に慣れ,自	ラムで記述し、	コンパイル	レ・実行し	,実行結	果について検討ができるよう	
明できる。					レベルの目安		到達レベル	レの目安	未到達レベルの目安	
(人)、成を記述できる。 対関係し、プログラミングに対している。 対関が関連し、大型の対し、		説明でき に支障が	・、プログラミン 「ない。	ング ログラミング 。	らを使ったプ	明でき, ログラミ	それらを(ングにおる	吏ったプ	変数について説明できない。プログラムの振る舞いを 追えない。	
制御構造の概念を理解し、これられた登場を選挙した。		里解 算子の優 理解し,	先,論理演算式 プログラミング		入の概念, 論 解し, プログ 障がない。	理演算式 ラミング	を理解し,	プログ	=の意味を理解していない ため、プログラムの振る舞 いを追えない。	
概念を建解し、これらを含されている。 さらに与えている。 さらに与えている。 さらに与えている。 さらに与えている。 さらに与れて調整を解く方法を良く できる。 さらに与れて関連に対して、	, 条件分岐や反復処理を	ノ , 条件分 記 れらの複 , 意図通 作成でき	r岐や反復処理や 合動作を理解し iりのプログラム る。	ゥそ , 条件分岐や レ れらの複合動 」を , プログラム 追うことがで	反復処理やそ 作を理解し の振る舞いを	, 条件分 れらの複 , プログ	岐や反復な 合動作を取 ラムの振	<u>処理やそ</u> 理解し る舞いを	制御構造の概念を理解できず,条件分岐や反復処理やそれらの複合動作も理解できれらのないため、プログラムの振る舞いを追うことができない。	
つくっていた間単点の担い人して、終入事情のとシトやのと、大きなの関係を考え、意図通りに、イスプログラムを記述できる。 フノトウェア生成に必要なツールを使い、トモジュールに変換して実行できる。 サールを使い、トモジュールに変換して実行できる。 を知っており、それぞれの環境では、カールを使い、アースプログラムを目標できる。 フノトウェア性のできる。 サールを使い、トモジュールに変換して実行できる。 ま要な言語処理プロセッサる。 シントア門角に利用して、カースタブリクスを機能を説明できる。 主要な言語処理プロセッサると、サールをはついて、対して、カースタブリクスを機能を説明できる。 エを理論のなツールの種類と対して、対して、カースタブリク、で、カースの地域的できる。 カースタブリカの機能について説明できる。 フログラミング言語は計算モデルを説明できる。 プログラミング言語は計算モデルによって分類されることを理解している。主要な計算モデルを説明できる。 プログラミング言語は計算モデルを説明できる。 プログラミング言語は計算モデルを説明できる。 プログラミング言語は計算モデルを説明できる。 プログラミングの関係を表している。主要な計算モデルを説明できる。 プログラミングの機能について説明できる。 プログラミングの機能について説明できる。 プログラミングの機能を対象できる。 フログラミングの機能を対象できる。 フログラミングの機能を対象できる。 フログラミング言語は計算モデルを説明できる。 プログラミングの機能を対象できる。 フログラミングの機能を対象できる。 フログラミング言語は計算モデルを説明できる。 プログラミング言語は計算モデルによって分類されることを理解している。 できるようになっている。この科目は一条授業がなじまないため、授業中においては自分でWebテェストのサンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうか、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうか、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうか、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうか、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうが、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうか、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうか、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を理解しているがとうか、サンブルブログラムの解説を読み、文法の要点を連解しているがとうか、カンドンデーションなどの言語を音解できる。 定期試験においては直分で吸っているデェックラムの偏くのでの学習方法も解析できる。 とまができる。 とまができる。 とまができる。 とまができる。 とまができる。 とまないるができる。 これできる。 できないるができる。 これできる。 これできる。 これできないる。 これできる。 これできる。 これできる。 これできる。 これによって分類されている。 これできないる これできないる これできる。 これできないる これできる。 これできる。 これできる。 これできないる これできないる これできないる これできる。 これでは、これできる。 これでは、これできる。 これでは、これできる。 これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	数, サブルーチンなど) 概念を理解し、これらを	で含 を作成で きる られた課 数に分解	ぎきる。さらに与 題を解く方法を むて見通しを良	テスー人の振る舞い	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	戻り値を ムの振る	理解し, こ 舞いをおる	――― 関数の プログラ おむね追	関数の概念, 引数, 関数の戻り値を理解していないため, プログラムの振る舞いを追うことができない。	
クストッユバスでは、ソースプログラム体成が出来、コンパイルを表行ができる。	して, それを解決するた のソースプログラムを記	ため │, 解決手 己述 りにソー	・順を考え, 意図 ・スプログラムを	図通 して,解決手 友人の助けを るためのソー	順のヒントや 借りて解決す スプログラム	して,解 友人の助 るための	決手順のI けを借り ソースプI	ニントや て解決す コグラム	与えられた簡単な問題に対して、解決手順のヒント与えられても解決するための ソースプログラムを作成できない。	
の種類と影響を説明できる。ソフトウェア開発に利用できくのではコッパイラーとではコッパイラーとではコッパイラーリンカなどの機能について説明できる。 リフトウェア開発に利用 はコッパイラーリンカなどの機能について説明できる。 リフグラミング言語は計算 をデルによって分類される。 できなどを理解している。主要な計算モデルを説明できる。 カログラミング言語は計算 を対している。主要な計算モデルを説明できる。 できないまたでは、 できないまたでは、 できないまないでは、 できないなができる。 かくないないでは、 できないないないでは、 できないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ツールを使い, ソースラ グラムをロードモジュー	プロール マルマブール マルマブ	おり, それぞれ ログラム作成た	1の 与えられた開 が出 グラム作成が	出来, コンパ	グラム作 イル&お 。	成が出来, おむね実	コンパ テできる	与えられた開発環境でプログラム作成が出来,コンパイル&実行ができない。	
モデルによって分類される。主要 ことを理解している。主要 な計算モデルを説明できる。	の種類と特徴を説明でき 。ソフトウェア開発に利 する標準的なツールの種	ック , アセン きる 説明でき 説用 はコンバ	·ブラなどについ , C言語に関し パイラ, リンカな	ヽて コンハイラ, て , アセンブラ に でき, C言語	こ関してはコ	, アセン でき, Ci ンパイラ	ブラについ 言語に関し ,リンカの	ハて説明 ノてはコ の機能に	コンパイラ,インタプリタ ,アセンブラについて説明 できない。またC言語に関 してもコンパイラ,リンカ の機能について説明できな い。	
教育方法等 に言語の修得ではプログラムのリーディングとライティングが重要である。この2つを交互に行いながら、C言語の修得ではプログラムのリーディングとライティングが重要である。この2つを交互に行いながら、C言語るようになっている。この科目は一斉授業がなじまないため、授業中においては自分でWebテキストのサンプグラムの解説を読み、文法の要点を理解して50個ほどの課題を演習する。定期試験においては基本的な文法を担いるかどうか、サンブルプログラムの振る舞いを追跡させる。 授業中においては自分でWebテキストのサンプルプログラムの解説を読み、文法の要点を理解して50個ほどのは人11の使って演習する。出来上がった課題は実行結果とともにWeb提出し、課題受付システムによるチェッデンテーションなどの書式の整合性、コンパイラによるコンパイルエラーの有無)・担当教員による目視チェップ、課題が受理される。将来新しいプログラミング言語を習得する際も、解説を自分で読みながら理解する学習有効であり、その学習方法も習得できる。定期試験においては基本的な文法を理解しているかどうかを、サンプグラムの振る舞いを追跡させる。定期試験で用いるサンプルプログラムは、演習中に思い通り動かなかったコンエラーにはならなかったものを題材としている。 Webテキストを読む時は、文法上の要点に自分で「気づく」ことが大事である。そのため、気づいた要点のまな出してもらう。課題の演習では、処理手順をよく考えるためのヒントもWebテキスト中にあるのでよく読むこと。およ、課題がはやく終わってしまった場合は、自分のペースで先に進んでも良い。定期試験前には過去の問題本番と同じように解いてみて、自分の理解度が正確であったかどうか、ケアレスミスを犯しやすいところはどこを検討してから本番に臨むこと。	モデルによって分類され ことを理解している。j	1る モデルに E要 ことを理	よって分類され 解している。i	1る プログラミン E要 モデルによっ	て分類される	モデルにことをお	よって分類	領される	プログラミング言語は計算 モデルによって分類される ことを理解していない。	
概要 C言語の修得ではプログラムのリーディングとライティングが重要である。この2つを交互に行いながら、C言語 きるようになっている。この科目は一斉授業がなじまないため、授業中においては自分でWebテキストのサンプ グラムの解説を読み、文法の要点を理解して50個ほどの課題を演習する。定期試験においては基本的な文法を知いるかどうか、サンブルプログラムの振る舞いを追跡させる。 授業中においては自分でWebテキストのサンプルプログラムの解説を読み、文法の要点を理解して50個ほどの 1人1台の使って演習する。出来上がった課題は実行結果とともにWeb提出し、課題受付システムによるチェッデンテーションなどの書式の整合性、コンパイラによるコンパイルエラーの有無)・担当教員による目視チェッデンテーションなどの書式の整合性、コンパイラによるコンパイルエラーの有無)・担当教員による目視チェッデンテーションなどの書式の整合性、コンパイラによるコンパイルエラーの有無)・担当教員による目視チェッデンテーションなどの書式の整合性、コンパイラによるコンパイルエラーの有無)・担当教員による目視チェッデンテーションなどの書話の整合である。定期試験においては基本的な文法を理解しているかどうかを、サンプラムの振る舞いを追跡させる。定期試験で用いるサンプルプログラムは、演習中に思い通り動かなかったコンエラーにはならなかったものを題材としている。 Webテキストを読む時は、文法上の要点に自分で「気づく」ことが大事である。そのため、気づいた要点のまな出してもらう。課題の演習では、処理手順をよく考えるためのヒントもWebテキスト中にあるのでよく読むことにはどのように出力するか指示がある場合があるので、それに従うこと。課題の実行結果については正しいからは記録によるには必ず、遅れそうな時は放課後も使って課題演習を行いる。はいていては正しいから表面にはどのように出力すること。は当然だが、遅れそうな時は放課後も使って課題演習を行いる。はいていては正しいから表面にはどのように出力することに当然だが、遅れそうな時は放課後も使って課題演習を行いる。はいていては正しいから表面によって課題の提出することに当然だが、遅れそうな時は放課後も使って課題演習を行いる。はいていていていては正しいからまでは、またが、遅れそうな時は放課後も使って課題できる。なお、課題がならには必ずないでは、ことがよりますないでは、またが、遅れてきるに対している。このでは、またがよりないでは、またがよりによっている。このでは、またがよりますないでは、またがよりによっている。このでは、またがよりますないでは、またがよりないでは、またがよりによっている。このでは、またがよりますないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがまたがまたがようないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがは、またがよりないでは、またがよりないでは、またがは、またがは、またがは、またがは、またがは、またがは、またがは、またが		目との関係								
グラムの解説を読み、文法の要点を理解して50個ほどの課題を演習する。定期試験においては基本的な文法を知られるかどうか、サンプルプログラムの振る舞いを追跡させる。 授業中においては自分でWebテキストのサンプルプログラムの解説を読み、文法の要点を理解して50個ほどの1人1台の使って演習する。出来上がった課題は実行結果とともにWeb提出し、課題受付システムによるチェックデンテーションなどの書式の整合性、コンパイルエラーの有無)・担当教員による目視チェックで表し、課題が受理される。将来新しいプログラミング言語を習得する際も、解説を自分で読みながら理解する学育効であり、その学習方法も習得できる。定期試験においては基本的な文法を理解しているかどうかを、サンプグラムの振る舞いを追跡させる。定期試験で用いるサンプルプログラムは、演習中に思い通り動かなかったコンエラーにはならなかったものを題材としている。 Webテキストを読む時は、文法上の要点に自分で「気づく」ことが大事である。そのため、気づいた要点のまな出してもらう。課題の演習では、処理手順をよく考えるためのヒントもWebテキスト中にあるのでよく読むことにはどのように出力するか指示がある場合があるので、それに従うこと。課題の実行結果については正しいからまでは、対してから提出すること。課題の提出期限を守ることは当然だが、遅れそうな時は放課後も使って課題演習を行きなお、課題がはやく終わってしまった場合は、自分のペースで先に進んでも良い。定期試験前には過去の問題本番と同じように解いてみて、自分の理解度が正確であったかどうか、ケアレスミスを犯しやすいところはどこを検討してから本番に臨むこと。	教育方法等									
1人1台の使って演習する。出来上がった課題は実行結果とともにWeb提出し、課題受付システムによるチェッデンテーションなどの書式の整合性、コンパイラによるコンパイルエラーの有無)・担当教員による目視チェックを設定して、課題が受理される。将来新しいプログラミング言語を習得する際も、解説を自分で読みながら理解する学者有効であり、その学習方法も習得できる。定期試験においては基本的な文法を理解しているかどうかを、サンプラムの振る舞いを追跡させる。定期試験で用いるサンプルプログラムは、演習中に思い通り動かなかったコンエラーにはならなかったものを題材としている。 Webテキストを読む時は、文法上の要点に自分で「気づく」ことが大事である。そのため、気づいた要点のまな出してもらう。課題の演習では、処理手順をよく考えるためのヒントもWebテキスト中にあるのでよく読むことにはどのように出力するか指示がある場合があるので、それに従うこと。課題の実行結果については正しいかと記してから提出すること。課題の提出期限を守ることは当然だが、遅れそうな時は放課後も使って課題演習をよるが、よお、課題がはやく終わってしまった場合は、自分のペースで先に進んでも良い。定期試験前には過去の問題本番と同じように解いてみて、自分の理解度が正確であったかどうか、ケアレスミスを犯しやすいところはどこを対してから本番に臨むこと。	概要	グラムの解説	を読み, 文法の)要点を理解して50	個ほどの課題を	 重要である), 授業中(を演習する	る。この27 こおいてに 。定期試馬	ーー つを交互に は自分でW 険において	こ行いながら,C言語を値得 Vebテキストのサンプルプロ Cは基本的な文法を理解して	
Webテキストを読む時は、文法上の要点に自分で「気づく」ことが大事である。そのため、気づいた要点のまで出してもらう。課題の演習では、処理手順をよく考えるためのヒントもWebテキスト中にあるのでよく読むこのにはどのように出力するか指示がある場合があるので、それに従うこと。課題の実行結果については正しいかと注意点 討してから提出すること。課題の提出期限を守ることは当然だが、遅れそうな時は放課後も使って課題演習を行っなお、課題がはやく終わってしまった場合は、自分のペースで先に進んでも良い。定期試験前には過去の問題本番と同じように解いてみて、自分の理解度が正確であったかどうか、ケアレスミスを犯しやすいところはどこ検討してから本番に臨むこと。	授業の進め方・方法	1人1台の使っ デンテーショ て,課題が受 有効であり, グラムの振る	って演習する。:□ ンなどの書式の 理される。将来 その学習方法も 舞いを追跡させ	出来上がった課題は ○整合性, コンパイ ₹新しいプログラミ 5習得できる。定期 ける。定期試験で用	実行結果ととも ラによるコンバ ング言語を習得 試験においては いるサンプルブ	5にWeb提 イルエラ・ する際も, :基本的なご	出し, 課 ーの有無) 解説を自 文法を理解	題受付シブ ・担当教 目分で読み 買している	ステムによるチェック(イン 対員による目視チェックを経 かながら理解する学習方法は 5かどうかを, サンプルプロ	
The second secon	注意点	Webテキスト 出してのよう 討してがら 記してから提 。な番と同じよ	を読む時は、3 。課題の演習で に出するとか指 出すると、問 がはやく終わっ うに解いてみて	文法上の要点に自分では、処理手順をよいでは、処理手順をよいである場合がある場合がある場の提出期限を守いてしまった場合は、自分の理解度が、	で「気づく」こ く考えるための るので, それに ることは当然だ , 自分のペース)ヒントも) 従うこと。 が,遅れっ で先に進,	Webテキス 、課題の実 そうな時に んでも良い	スト中にあ ミ行結果に は放課後も い。定期試	5るのでよく読むこと。課題 こついては正しいかどうか検 5使って課題演習を行うこと ば験前には過去の問題を試験	
JA/N-1/101ユ /区(アユマノドール)										
			フロー TIP			d 15:				

授業計画	Į			1			1			
		週		授業区			週ごとの到達目標			
		1週		組みi 解し, る。	込み関数の使 それを使っ	い方,関数の作り方・使い方をを理 たプログラムを作成し,Web提出す	sqrtなどの組み込み関数,自作関数を使ったプログラムの動作を理解でき,それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次動作説明ができる。			
		2週		関数 <i>0</i> グラ <i>1</i>	の作り方・使 4を作成し,	い方をを理解し,それを使ったプロ Web提出する。	自作関数を使ったプログラムの動作を理解でき、それ を使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行 逐次動作説明ができる。			
		3週		配列を	を扱う関数の プログラムを	作り方・使い方を理解し,それを使 作成し,Web提出する。	配列を扱う関数を使ったプロ , それを使ったプログラムを の各行逐次動作説明ができる	作成できる。		
	210	4週			」,それを使	列)を扱う関数の作り方・使い方を ったプログラムを作成し,Web提出	文字列(char型配列)を扱う関数の作り方・使い方を 理解でき、それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次動作説明ができる。			
	3rdQ	5週		でプロ	コグラムを作	ラミングを体験し,段階詳細化手法 成しすることを目指し,関数部品ブ ,Web提出する。	段階詳細化プログラミングを理解でき、それを使った プログラムを作成できる。プログラムの各行逐次動作 説明ができる。			
		6週				ラミングを体験し,段階詳細化手法 成し,Web提出する。	段階詳細化プログラミングを プログラムを作成できる。フ 説明ができる。	注理解でき, そ プログラムの名	れを使った 好で変の動作	
		7週		スター	ティック変数	算,グローバル変数とオート変数。 の振る舞いを理解し,それらを利用 作成し,Web提出する。	各種変数の振る舞いを理解で ラムを作成できる。プログラ できる。	き, それを修 ムの各行逐次	きったプログ マ動作説明が	
後期		8週				イルへの出力方法を理解し,それを を作成し,Web提出する。	fprintfによるファイルへの出力方法を理解でき、それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次動作説明ができる。			
		9週				イルへの入力方法を理解し,それを を作成し,Web提出する。	fscanfによるファイルへの入力方法を理解でき、それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次動作説明ができる。			
		10ì	周			の入出力方法を理解し,それを使っ 成し,Web提出する。	テキストファイルの入出力方法を理解でき, それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次動作説明ができる。			
		11ì	周	テキン たプロ	ストファイル コグラムを作	の入出力方法を理解し,それを使っ 成し,Web提出する。	テキストファイルの入出力方法を理解でき、それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次 動作説明ができる。			
	4thQ	12ì	周	バイ ラ たプロ	ナリファイル コグラムを作	の入出力方法を理解し,それを使っ 成し,Web提出する。	バイナリファイルの入出力方法を理解でき,それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次 動作説明ができる。			
		13ì	固		本を理解し, 的提出する。	それを使ったプログラムを作成し	構造体を理解でき,それを使ったプログラムを作成で きる。プログラムの各行逐次動作説明ができる。			
		14ì	周	構造体	本を理解し,	それを使った簡易データベースプロ Web提出する。	構造体を理解でき、それを使ったプログラムを作成できる。プログラムの各行逐次動作説明ができる。			
		15ì			ト定期試験 (後期中間試験を含む)				
		16ì		ロセ	ソサの役割を					
]アカリ=	キユ		学習	内容と到達	全目標 			T	
分類	_		分野		学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
						代入や演算子の概念を理解し、式を	記述できる。	4	後7	
						プロシージャ(または、関数、サブルーチンなど)の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。		4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14	
						変数の概念を説明できる。		4	後7	
						データ型の概念を説明できる。	4	後3,後4,後 13,後14		
専門的能力	分野別の門工学	の専	情報系分野		野 プログラミ ング	制御構造の概念を理解し、条件分岐	を記述できる。	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14	
						制御構造の概念を理解し、反復処理	を記述できる。	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14	
						与えられた問題に対して、それを解 ムを記述できる。	· 決するためのソースプログラ	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 11,後12,後 11,後12,後 13,後14	

				ソフトウェア生成に ードモジュールに3	こ必要なツールを使い、ソース 変換して実行できる。	スプログラムをロ	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14		
				与えられたソース: することができる。	プログラムを解析し、プログラ	5ムの動作を予測	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14		
				ソフトウェア開発に できる。	こ利用する標準的なツールの種	類と機能を説明	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14		
	分野別の工 学実験・実 習能力	情報系分野 【実験・実 習能力】	情報系【実験・実習】	フローチャートなど 成することができる	ごを用いて、作成するプログラ 3。	5ムの設計図を作	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14		
評価割合										
定期試験			定期試験		課題合計					
総合評価割合 80			30	20 100		100				
基礎的能力 0				0		0	-			
専門的能力 80					20 100					
分野横断的能力 0)		0 0					